

## 令和4年度第11回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日 時	令和5年2月21日（火曜）午後6時00分～7時30分
会 場	稲武支所2階 団体会議室

### 1 あいさつ

○大内会長

市街地の方は梅が咲き出したようであるが、稲武では昨日、雪が降った。前回に引き続き、ファーストキャリアさんとの意見交換がある。本日もよろしくお願いいたします。

### 2 「ファーストキャリア」さんからの稲武地区に関する提案について

横田委員；

- ・ファーストキャリアさん側は企画内容を練り直してきたので、今回も積極的な意見交換をお願いしたい。

<発表概要> 田畑氏ほか

- ・前回の意見交換を踏まえ、反省点を改善した。前回に引き続き、「師匠」と「弟子」の関係に着目し、ワーケーションと稲武での体験型研修である「INAGOMORI（いなごもり）」計画について説明したい。
- ・稲武にいる人材を「師匠ブック」として紹介したい。師匠は従来の研修講師から一歩踏み込んで、よりコミュニケーションを取って、師匠を好きになってもらえるような存在をイメージしている。
- ・ポイントは、「人とのつながり」と「学び」である。前回協議会でアドバイスがあったコーディネーターには、オープンナブを想定することにした。
- ・1回目は企業研修の位置づけとして行い、2回目以降は個人の活動として稲武に来るようなスキームを考えている。

<質疑応答>

鈴木委員；前回の提案よりも具体的になったと思う。質問であるが、まずは企業の人材が稲武に来てくれる想定なのか？また、研修日程は3日間を想定しているか？

→田畑；その通り。

古橋真人委員；収支が、この事業の持続可能なところかと思う。参加費が10万円とあり、売上が通常の体験事業よりも多くなっている。かつ、大きな固定

費もかかっていないところが魅力である。

なお、企業側にどれだけニーズがあるか？

→田畑；企業が実施するフィールド研修について、2018年には341億円で  
あるが、2025年には1,700億円になると予測されるデータがあり、  
将来性は十分にありと考えている。

杉田委員；これまでも、都市部からの企業研修を受け入れたことはあるが、日帰  
りが多かった。企業の担当者によれば、参加者が稲武の農園に来るまでに、  
バスの中で本音が聞けるので、企業側にもメリットがあると聞いた。コーデ  
ィネートができる団体が立ち上がるとよいと思うし、また、自分たちが師匠  
になれたらよいと思う。

鈴木委員；この事業は、師匠が肝だと思う。師匠の想定は、個人なのか団体なの  
か？

→田畑；現時点では個人を想定している。

→鈴木委員；稲武において師匠になりうる人は、話が苦手なイメージがある。説  
明や運営をサポートできる地域や団体が必要だと思う。

山田副会長；師匠ブックはおもしろい企画だと思う。観光マップはよくあるが、  
その地域にどんな人がいるのかは分からない。稲武にはこういう人がいる  
ということが分かるとおもしろいと感じた。

横田委員；彼らは1度も稲武に来ないで、このような企画をまとめた。ぜひ実現  
できるように、ステップを踏んでいけたと思う。

### 3 協議事項について

#### (1) 各団体からの現在の取組、課題などの発表について

##### ①稲武地域生活交通利用促進委員会

松井晃委員；

主な取組として、以下の項目を行ってきた。10年後も乗客の楽しい声がする  
どんぐりバスが走っているところを目標にしたい。

- ・豊田市交通政策課、稲武支所へのバスの運行提案（時刻、バス停）
- ・先進地視察研修
- ・時刻表・バスマップの全戸配布
- ・地域バス活用案マップの作製
- ・各自治区に出向いたバスの利用状況説明や便利な使い方等のPR
- ・稲武こども園でのバス乗車体験と交通安全教室の実施
- ・稲武ふれあいウオーキングでのバス利用PR
- ・地域バスの体験乗車券、どんぐりの湯入浴券の配布
- ・生活交通新聞の発行

- ・ちょっとよって館の運営及びパスまちサロン会と共同PRを実施
- ・稲武ふれあいまつりでのバス利用PR
- ・飲食店と連携したデマンドバスの夜間運行時間の延長
- ・シニアカー体験乗車会と連携したバス利用PR
- ・どんぐりバス沿線住民を対象にしたバスの利用アンケート調査の実施

次回は、稲武地域林業振興協議会、市稲武支所が発表する。

#### 4 稲武地域林業振興協議会からの確認事項について

三江副会長；前回、稲武地域林業振興協議会から確認事項の提示があり、前回協議会で結論が出なかったため、正副会長及び事務局で協議することにした。協議結果について説明したい。

結論としては、稲武地域林業振興協議会の事業に直接関係すると思われる項目について回答することにし、確認事項2「どんぐりの湯の木質バイオマスボイラー設置の検討は進んだか？」について取り上げる。

なお、その他の質問、提案については、個別に確認をしていただくようお願いする。

では、本確認事項は、市が関与する事柄であるため、説明は委員である杉山支所長から行う。

杉山委員；

- ・検討は進んでいません。
- ・令和3年7月まち協でも報告しましたが、令和元年度に木質バイオマス導入検討委託を実施した結果、活用できる木材の量、及び、どんぐりの湯の敷地に余裕がない点が課題として明らかになっています。
- ・令和3年7月当日の協議会で、鈴木委員が発言されていますが、「地域がどんぐりの湯をどうしたいかが問われている」点が大きなポイントになることは間違いありませんが、市としては環境配慮、経費節減のほか、木材搬入やメンテナンスなどの人員体制などの課題解決に向けた地域や関係者間での合意が得られない限り、積極的な検討が進められないと考えています。

古橋真人委員；先日、福田達夫衆議院議員の話聞いた。群馬県上野町で、バイオマス発電とその熱源を使ったシイタケ販売が行われ、100名ぐらいの雇用を生み出しているとのことである。電源やボイラーだけではだめで、プラスアルファになる何か付加価値をつけなければいけないと思う。

大島委員；財産区で視察に行った際に、バイオマストイレを見た。木材の置き場や乾燥化に広い敷地が必要になるようであり、なかなか難しいものだと感じ

た。

藤綱副会長；自分は平成21年、22年にどんぐりの里いなぶに出向した時に、豊根村の温泉において、ペレットで湯を沸かしたことがあり、当時の森林課からどんぐりの湯でもやれないか打診があったが、ペレットが安定的に供給できない状況であった。集客施設でもあり、安定的な営業ができないと困るので、やめる判断をした。

古橋久三委員；今回、どんぐりの湯で新しくしたボイラーの性能はどのぐらいのものか？

→佐藤委員；調べて報告します。

鈴木委員；どんぐりの湯の質問に関しては分かった。他の質問事項は個別に聞いてほしいとのことだが、自分が個別に聞けばいいのか？

→藤綱副会長；このまち協は、各団体が集まっている協議会であり、それぞれが活動している。決定権がある会議体でないので、この場で質問されても困るという見解である。

→鈴木委員；個別に回答はくれないのか？それならそれで構わないのだが、どういう対応になるのか？

→山田副会長；以前の協議会で、この場はプレイヤーである各委員の取組や悩みを共有することで、まちづくりを進めていくことを皆さんから了解してもらったので、その通り進めていきたい。

→鈴木委員；稲武で、地域が協議をして何かを進めるにはこの協議会しかない。委員で価値観は違うものだから、考え方に違いはあるのかもしれないが、市役所はまちづくりをしないところであり、強いて言えば、自治区がそうかもしれないが、1つ言えることは地域でまちづくりをやっていくしかないということ。

→古橋久三委員；前回、欠席であったので、自分なりの考えを事務局に提出した。林業振興協議会の質問事項に、だめなものはだめと明確になっているものもあるが、回答は全ての質問事項に対してすべきであると思う。そうでないと、この協議会に出席している意味がない。

## **5 各種話題提供について**

### **(1) ワーキング部会、各委員からの報告**

大内会長；2月4日(土曜)に開催した雪み街道は、約1,000人が来場した。

汁-1グランプリには6店舗が出店し、汁物は売切れとなった。2月25日(土曜)から、いなぶ旧暦のひなまつり2023のまちなか会場が始まる。

村瀬観光協会事務局長；今年度から、スタンプラリーに代えて、フォトラリーを

開催する。

大島委員；雪み街道の時に、雪灯ろうをまちなかに配置したが、雪灯ろうがない場所があったが何か理由があるのか？

→三江副会長；車が止まっていたり、止まるであろうという場所に雪灯ろうは置かなかった。なお、特にクレームはなかった。

横田委員；稲武商工会館に来ているトヨタ自動車さんから、トヨタグッドピースコンテストを開催することを聞いたので展開したい。

当社においても、シートの端材が出るが、意匠権の問題もあり多くは捨てることになっていた。トヨタ自動車でも同じような状況のようであったが、今後は積極的に利活用する方向に転換されたようで、そのアイデアコンテストを実施することになった。ぜひ参加をお願いしたい。

佐藤委員；道の駅イベント広場の利用申請を受け付けている。利用希望がある場合は、早めに申込みをお願いしたい。

→鈴木委員；利用料などについて個別に聞きたい。

## **6 次回開催日**

令和5年3月14日（火曜）午後6時～ at 稲武支所団体会議室